



米國檢查索章程

大藏省

3390





114  
A 2316



第一

検査寮原由並ニ履歴ノ事

畧之

第一検査頭職掌畧記並ニ分課ノ事

第一検査頭ハ遣拂ヲ除クノ外総テ海関税ヨ  
 リ取立ル歳入取集方並ニ之レニ関涉スル諸  
 件ヲ直チニ管スルノ任アリ依テ第一並ニ第  
 五精算方及ニ地所掛長官ニテ算入シタル勘  
 定書並ニ證書類ヲ相當ノ時限中其筋勘定方  
 ハ差出レ方ノ儀ヲ收税方其他公金受拂ヲ為  
 ス者ハ布達ヲ為スヘシ其勘定書ハ検査頭ノ  
 決算ヲ以テ結局ト見做スヘシ若布達ニ隨ヒ

大正十一年四月  
大隈侯爵邸贈

大隈侯爵

大隈侯爵



其勘定書ヲ差出サ、ル時ハ大藏省代訴人、  
 出細簿冊上殘金ノ正寫ヲ送<sup>ル</sup>其者ヲシテ公  
 裁ヲ經ル、予續ヲ為サシムヘシ但第一第五  
 精算方又ハ地所掛長官ニテ精算セシ勘定書  
 中ノ殘金ヲ集稅方其他公金受拂人ヨリ納メ  
 方ヲ怠リ或ハ否<sup>シ</sup>節ト同様タルヘシ且精  
 算延列ニ及ヒテハ合衆國ノ為メ妨ケナリト  
 推考スル片ハ第一第五精算方並ニ地所掛  
 長官ニ命シ各管掌スル所ノ勘定書ヲ速ニ精  
 算<sup>ヲ</sup>為サシムヘシ○第一第五精算方ニテ精算

ノ上再查ノ為メ差出シタル文官諸省並ニ外  
 國交際ニ關係ノ諸省ノ勘定書ヲ受取り又地  
 所掛長官ニテ精算ノ上再查ノ為差出シタル  
 地所取締役所ノ勘定書類ヲモ受取ルヘシ而  
 メ其申請ヲ承認シ或ハ變換<sup>シ</sup>或ハ停罷スヘ  
 シ又殘金等ヲ証明シ收受ノ為出納頭ヘノ傳  
 票ノ予續ヲ為スニ於テ其寫ヲ大藏卿ヘ差出  
 ス事ヲ記錄頭ヘ證ス○決算シタル諸勘定書  
 類ヲ其證明書ト共ニ大藏記錄頭ヘ送致シ其  
 官守ヲ司トルヘシ○大藏卿ノ印可ヲ受ク



大藏省

ル為メ諸勘定書類ニ關係ノ公文雛形其他之  
レヲ保存並ニ具狀等ノ方法ヲ上陳スヘシ  
○驛迎索ノ為メ大藏省精算方ニテ精算ノ上決  
算シタル同索ノ勘定書類決算ニ付テハ驛迎  
頭或ハ其他ノ者ニテ右決算勘定書ニ付不服  
ニテ其決算ノ後十二ヶ月ノ内検査頭ニ訴フ  
ル時ニ限リ第一検査頭ハ其裁判ノ権力ヲ有ス  
ヘシ  
○一般金庫ノ金銀出納共大藏卿ヨリ出  
シタル傳票ハ檢印ヲ為スヘシ但シ驛迎索金  
庫トハ自ラ區別アルヘシ  
○第一検査頭ハ決

負人金銀受拂人集稅方巡察方領事官等ノ奉  
務證券並ニ歳入ニ關係シテ證券ヲ差出スモ  
ノ、證書及ヒ政府交際上ノ勘定書等ノ可否  
ヲ論シ之レヲ承認シ又之レヲ管守シテ其役  
所ニ備ヘ置クヘシ  
大藏卿掌管事務ノ内職制ノ畧記並ニ區分ト  
題セシ第二節ノ二章ノ趣旨ハ検査頭ノ職掌  
並ニ管掌スル所ノモノニシテ此下ニ記載ス  
ル分課ニ全ク適用スヘキモノナレハ暫ク前  
文ニ譲リテ茲ニ詳記セス然レモ茲ニ記載ス



ル所口ノ各課各局ノ数巨多アルト虽中ニ  
ハ其分課各局ニテ為ス所ノ事務閑ニシテ其  
分課中多ク只一人ノ勘定方ニテ足レルモノ  
アリ故ニ右多数ニ分課スルハ實ニ不益ニ當  
ルト虽モ其各課各局ハ大小トテ自ラ區分  
アル故ヲ以テ之ヲ合併セズ各其課ヲ分テ置  
ク事ヲ許セリ

- 第一 貿易航海並ニ海關稅ニ関涉ノ役所
- 第二 證券並ニ約書等ヲ貯蓄ノ役所
- 第三 歳入納入ノ傳票ニ関スル役所

- 第四 定額金傳票ニ関スル役所
- 第五 拂出ニ傳票取扱ノ役所
- 第六 出納頭引受タル歳出入勘定ノ役所
- 第七 海關稅勘定ノ役所
- 第八 燈臺<sup>臺</sup>竅諸勘定ニ関スル役所
- 第九 海軍病院ノ勘定ニ関スル役所
- 第十 俸祿ニ關係ノ役所
- 第十一 海岸測量關係ノ役所
- 第十二 地所拂下ケ勘定ニ關係ノ役所
- 第十三 公地測量ノ計筭ニ關係ノ役所



第十四 地所拂下代、二分三分並ニ五分計算ニ関係ノ役所

第十五 内國稅並ニ直稅計算ニ関スル役所

第十六 專賣免許料計算ニ関スル役所

第十七 造幣寮ノ計算ニ関スル役所

第十八 雜稅ノ計算ニ関スル役所

第十九 公金預テ所ノ計算ニ関スル役所

第二十 外國交際ノ入費計算ニ関スル役所

第二十一 諸官省官負俸給ノ計算ニ関スル

役所

第二十二 臨時費計算ニ関スル役所

第二十三 國債計算ニ関スル役所

第二十四 過テ取立タル金銀下戻シノ計算ニ

関スル役所

第二十五 殘金ノ畧記ニ関スル役所

个印

海關稅則貿易規則並ニ收稅ノ方法等ノ儀ニ付千八百四十四年迄大藏卿ト共ニ相関



第一  
リテ第一検査頭ヨリ直ニ指揮スル件々

検査頭ハ集稅方海軍士官等ハ收稅ノ法設  
立並ニ施行其他其法施行ノ際一般ノ職掌  
ノ事ニ付指令ヲ為ス

第二

船目錄等ノ書類ヲ渡レ或ハ取消ノ手續ニ  
付其雛形並ニ方法ヲ示シ並ニ其書留ヲ為  
シ置キ之ヲ四季ニ記録頭ハ差出シ方ヲ指  
令ス

第三

検査頭ハ燈臺ノ事ヲ管スル長官タル故ヲ  
以テ其職掌並ニ之ニ関スル諸雛形並ニ方  
法ヲ集稅方ニ示シ四季ノ其勘定書等ヲ第五精  
算方ハ差出シ方ヲ指令ス但第五精算方ハ  
尚第一精算方ハ正算ノ為メ送ルヘシ

第四

検査頭ハ海軍病院ノ取扱ヲ為スヲ以テ其  
職務上ノ事並ニ之ニ関スル諸雛形方法等  
ヲ集稅方ニ示シ正算ノ為メ第一精算方ハ



四季ニ其勘定書類差出シ方ノ事ヲ指令ス  
第五

税関船荷ノ告書輸出入品届並ニ輸出入ノ  
積荷目録其他船目録往來午形等差出シ方  
午續及ニ外國人名籍届方並ニ外國ヨリ貧  
民移住ノ届方等ノ事ヲ集稅方ニ指令シ之  
レニ関シタル事件ヲ記録頭ニ報告スヘキ  
其雛形等ヲ示ス

第六

外國貨幣比較ノ價位ヲ規定シ其報告ノ午

續及ニ合衆國一向ケ來ル荷物送<sup>ル</sup>状ヲ證  
明スル等ノ午續ヲ外國ニ在ル領事官並ニ  
貿易取締役ニ指令ス

第七

合衆國諸港ニ於テ稅額法ノ一般差異無カ  
ラシメサル為集稅方並ニ其他稅関官員ノ  
心得トシテ定期ヲ追ニ輸入稅ノ歩合ヲ載  
セタルイロハ分ケノ稅額表ヲ布達ス

第八

輸入品改方並ニ價位監定ノ事並ニ稅銀取



立方等ノ事ヲ指令シテ而シ之ニ関シテ備ヘ  
置クヘキ簿冊並ニ勘定書等ノ雛形ヲ示シ其  
歳入ノ報告書ヲ四季ニ差出ス事ヲ集稅方  
並ニ其他稅関役員ヘ指令ス

第九

頓稅並ニ其他ノ諸入費ノ割合並ニ取立方  
ノ手續キラ指令シ之ニ関シテ備置クヘキ  
簿冊勘定書類ノ雛形ヲ示シ及ヒ之レヨリ  
取立ル所ノ歳入ノ報告ヲ四季ニ差出スヘ  
キ事ヲ集稅方ヘ指令ス

第十

收稅ニ於テ偽欺ノ所為アラニテ防止スル  
事ニ付見張り船ノ指揮官並ニ巡察方等ヘ  
指令ス

第十一

既ニ許可シタル拂方並ニ其四季ノ報告ノ  
事及ニ議院ヘ上申ノ為俸祿ノ勘定書等差  
出シ方ノ事ヲ集稅方並ニ其他ノ稅関役員  
ヘ指令ス

検査頭ハ又前条ニ關係ノ事務ニ付其他ノ



大藏經  
雜事ニ於テ巨細ノ指令ヲ為ス

口印

第一精算方ヨリ正算ノ上差出シタル簿冊  
勘定書類<sup>ハ</sup>第一検査頭ニテ再査ノ事

畧之

八印

第五精算方ヨリ正算ノ上差出シタル簿冊  
勘定書類ヲ検査頭ニテ再査ノ事

畧之

二印

地所掛長官ヨリ正算ノ上差出シタル簿冊  
勘定書類ヲ検査頭ニテ再査ノ事

畧之

ホ印

大藏卿ヲ經テ議院ヘノ報告並ニ上申ノ事  
畧之



一印

第一検査頭役所へ備へ置り、キ簿冊ノ事

畧之

右附録ノ事

畧之

第二検査寮廃置原由並ニ履歴ノ事

畧之

第二検査頭職掌畧記並ニ分課ノ事

第二検査頭ハ海陸軍省ニ関係シタル公金ノ

受拂ヒヲ為ス者ハ相當ノ期限内ニ其勘定書

類並ニ證據ノ書類等ヲ其筋但第二第三  
第四ノ内精算

方へ正算ノ為メ差出方ヲ布達ス、シ其決算

ニ於テハ第二検査頭ノ決ヲ以テ結局ト見做

ス、シ若其布達ニ隨ヒ前書勘定書類ヲ差出

サ、ル時ハ正算ノ上大藏省へ可細残金ヲ急

或ハ否、シ節ト同様大藏省附代訴人へ

残金ノ正寫ヲ送り以テ其者ヲシテ公裁ヲ經



ル午續ヲ為ス事ヲ命ス。且延引セハ合衆  
 國ニ損害アルト推考スル時ハ何等ノ勘定書  
 ヲ問ハス其筋精算方ニ速ニ正算ノ儀ヲ命ス  
 ハシ  
 第二検査頭ハ再査ノ為ニ差出シタル海陸軍  
 省ノ諸勘定書類ヲ受取り之ヲ兼認シ愛換シ  
 又ハ之ヲ差戻スヘシ。○彼兼認セシ勘定殘金  
 ヲ大藏省ニ納入ヲ要スル為メ其勘定ヲ差出  
 シタル省ノ卿ニ證明スヘシ。或ハ其命ヲ受ケ  
 シ其筋役人ヨリ納入スヘキ旨ヲ命スヘシ。且

彼ノ結局ノ決ヲ為シタル諸勘定書類ヲ其證  
 明書ト共ニ元差出シタル精算方ニ送致スヘ  
 シ。○海軍卿又ハ陸軍卿ヨリ大藏省ニ差出シ  
 タル金銀受取ノ諸違書ニ記名スヘシ。○西省  
 中公金受拂ヲ為ス各課ニ用ユヘキ書式雛形  
 等ヲ右両省ノ卿ニ具狀スヘシ。而シテ總テ公  
 金ノ勘定書類ヲ再査シ其保存ヲ管司スヘシ  
 ○第二検査頭ハ又海陸両省ニ關係シ金銀出  
 給ヲ為ス者其他證券等ヲ差出シ或ハ約定等  
 ヲ為ス者ノ奉職證券並ニ約定書ヲ管守ス。且



又彼レカ役所ノ各事務ニ属スル簿冊ヲ備置クヘシ

第二検査寮ノ事務取扱ニ於テ其書記生分配方等ハ左ニ記載スル分局分課支課ニ區別ス尤第二検査寮書記生ノ人<sup>員</sup>ニ比スレハ其分局分課等多数ナリ故ニ分課ノ内多クハ只一人ノ書記生ノ引受ルアリ然レ氏其一人ニ委任セシ各事務差異アルヨリ分課ヲ設ケ置クヲ一般之ヲ便宜トス

第一 指令ノ役所

第二 奉職證券並ニ約定書書留ノ役所

第三 海陸軍省用金書留ノ役所

第四 印度人事務ノ計算ニ関スル役所

第五 印度人ノ内子カサワ人種ニ関スル役所

ル役所

第六 陸軍勘定役ノ計算ニ関スル役所

第七 陸軍輜重方ノ計算ニ関スル役所一部

第八 陸軍武庫ノ計算ニ関スル役所

第九 陸軍新兵ノ計算ニ関スル役所

第十 諸雜費ノ計算ニ関スル役所



第十一 陸軍建築方ノ計算ニ関スル役所

第十二 河海建築方ノ計算ニ関スル役所

第十三 食料方ノ計算ニ関スル役所

第十四 輜重方計算ニ関スル役所 一部

第十五 陸軍養老銀取扱人ノ計算ニ関ス

ル役所

第十六 軍事諸般ノ請求ニ関スル役所

第十七 海軍勘定役ノ計算ニ関スル役所

第十八 海軍出納役ノ計算ニ関スル役所

第十九 海兵ノ勘定方ノ計算ニ関スル役所

第二十 海兵輜重方計算ニ関スル役所

第二十一 海軍新兵ノ計算ニ関スル役所

第二十二 楢立木保護ヲ司ル役員ノ計算ニ

関スル役所

第二十三 海軍養老銀勘定方ノ計算ニ関ス

ル役所

第二十四 諸勘定並ニ殘金書留ニ関スル役

所

海陸軍省ニテ金銀遣拂ノ勘定書備置方

並ニ差出方ノ書式雛形ニ關係シ第二檢



查頭ヨリ指令スヘキ件

イ印

第一

第二検査頭ハ軍艦ノ指揮官勅定方等心得  
ノ為メ大藏省ニテ正算スヘキ勅定書類差  
出方及ヒ貯蓄方ノ規則並ニ離形等ヲ示ス  
ヘシ

第二

第二検査頭ハ印度事務省ノ定額金遣拂ニ  
付一般ノ計算法ニ於テ異同無カラシメン

カ為メ大藏省ニテ精算スヘキ其勅定書類差  
出シ方其他貯蓄方等ノ方法並ニ離形ヲ印  
度事務省ニ勤仕ノ出納掛役負ヘ示スヘシ

第三

第二検査頭ハ海陸両省養老銀計算ヲ為ス  
者一般取扱方ヲ指令シ且右両省ハ養老銀  
ヲ受ル者ヘ渡シタル拂ヒ方ノ勅定書ヲ正  
算ノ為メ大藏省ヘ差出シ方並ニ貯蓄方ノ  
離形等ヲ示スヘシ

ロ印



第二精算方ニテ受取リ正算ノ上第二検査頭ノ再査ノ為メ差出スヘキ勘定書類ノ事

畧之

第三精算方ニテ受取リ正算ノ上第二検査頭再査ノ為メ差出スヘキ勘定書類ノ事

畧之

海軍省諸役所ノ手ヲ經ス第四精算方受取リ正算ノ上第二検査頭再査ノ為差出スヘキ勘定書類ノ事

畧之

ハ印

第二検査頭ヨリ報告ヲ為スヘキ件々ノ事

第一

第二検査頭ハ第一月一日ニ於テ西議院ヘ報告ノ為メ其前年任拂セシ陸軍省定額金ノ年報ヲ陸軍卿ニ送ルヘシ右年報ハ前年一月一日迄定額金遣拂殘金前年中返納繰越ノ高其年ノ現費ニ充テシ高並年内大藏省ヨリ受取タル金高及ヒ其年ノ十二月三十一日ニ至ルノ殘金其他別段取除キ置タ



ル準備金ニ充ツヘキ金高等ノ高定ヲ標出  
セシモノナリ

第二

検査頭ハ第一月一日ニ於テ西議院ヘ報告  
ノ為ノ其前年仕拂セシ海軍省定額金ノ年  
報ヲ海軍卿ヘ送ルヘシ右年報ハ前年一月  
一日迄定額金遣拂殘金前年中迄納繰越ノ  
高年内現費ニ充テシ高并ニ年内大藏省ヨ  
リ受取タル金高及ヒ其年ノ十二月三十一  
日ニ至ルノ殘金其他別段取除置タル準備

金ニ充ツヘキ金高等ノ高定ヲ標出セシモノ  
ナリ

二印

第二検査寮ニ充備スヘキ簿冊ノ事

畧之







